

平成24年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	鯨類の持続可能な利用に関するセミナー開催		担当部局庁	経済局		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成16年度		担当課室	漁業室		室長 梅澤 彰馬			
会計区分	一般会計		施策名	Ⅱ－2 国際経済に関する取組					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第四条第一項 外務省組織令第六十八条第一項		関係する計画、通知等						
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	世界的に反捕鯨国・NGOによる反捕鯨キャンペーンが強まる中、IWCにおいて我が国と同じく鯨類の持続可能な利用を支持する国々を我が国に招聘し、我が国の立場を説明し、これに対する理解や支持を求めるとともに、参加国との間で意見交換、情報交換を通じ、緊密な連携を確実なものとする。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	平成24年2月28～29日及び3月4日に東京にて開催。アジア及び欧州地域から鯨類の持続可能な利用を支持する国(我が国を含み8カ国)が参加し、IWCにおける現状(昨年年次会合から閉会期間中の作業部会における議論等)に関する意見交換、本年のIWC年次会合における幾つかの主要議題への対応ぶり、我が国が南極海で行っている調査捕鯨に対するNGOによる妨害行為への対応等に関する情報提供及び意見交換を行った。この結果、参加国間で現状認識や互いの考え方を共有することができたとともに、参加国から、引き続き我が国の立場を支持する旨の表明がなされた。								
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)			21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	13	7	5	5	3		
		補正予算	—	—	—	—			
		繰越し等	—	—	—	—			
	計		13	7	5	5	3		
	執行額		7	5	1				
執行率(%)		56.9%	71.9%	17.0%					
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)	
	鯨類の持続可能な利用支持国に対して、捕鯨問題に関する我が国の立場の理解を深める。結果として、IWC年次会合への利用支持国の出席率を高めることを目的とする。 成果実績はIWC会合鯨類の利用支持国の参加国			成果実績	国数	32	35	22	39
				達成度	%	84	89	56	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)				単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	鯨類の持続可能な利用支持国に対して、捕鯨問題に関する我が国の立場について理解を深め、支持を得るための参加国コミッショナーレベルでのセミナー開催(年1回)。			活動実績 (当初見込み)	開催回数/年	1	1	1 (1)	— (1)
単位当たりコスト	839(千円／ 1回)			算出根拠	年1回実施したセミナー開催に要した経費を基に算出。				
平成24・25年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由					
	旅費	5	3	同セミナー開催事業に関し、招へい対象者、通訳部分の見直しによる減。					
	計	5	3						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	我が国と立場を同じくする国々と共に鯨類の持続可能な利用を守る観点から非常に重要。23年度はIWC年次会合の議論を踏まえ、より政策的な観点から意見交換を行うために、アジア及び欧州の一部の主要国に絞らざるを得なかったため、招聘国数が少なくなり、経費が大幅に不用となった。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	味方国の中でも、近隣諸国や重要性の高い国々を選んで招へいしている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	毎年開催している本件セミナーを通じて味方国との連携強化が図られ、IWC年次総会における共同歩調につながっている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	※類似事業名とその所管部局・府省名	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	鯨類の持続可能な支持国との協議については、本年と同様、これら支持国現地への我が国政府関係者ミッション派遣等、セミナー形式での招聘以外の手段も併用しつつ、予算的にも無駄なく効果的なタイミングかつ招聘内容となるよう、引き続き工夫に努める。		
予算監視・効率化チームの所見			
抜本的改善		事業見直しによる減	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減		同セミナー開催事業に関し、招へい対象者、通訳部分の見直しによる減。	
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号 平成22年行政事業レビュー 528 平成23年行政事業レビュー 511			

個別事業名： 鯨類の持続可能な利用に関するセミナー開催

※平成23年度実績を記入

外務省
0.8百万円

捕鯨問題に関する我が国の立場についての理解を促進することを目的に、アフリカ、アジア、大洋州の主にIWC未加盟国を対象に代表者を招聘し、会議を開催する



【外国送金】

A.招聘者(4名)
0.8百万円

招聘者の訪日旅費を送金

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単位:
百万円)

個別事業名： 鯨類の持続可能な利用に関するセミナー開催

費目・使途 （「資金の流れ」 においてブロッ クごとに最大の 金額が支出され ている者につい て記載する。費 目と使途の双方 で実情が分かる ように記載）	A.			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	旅費	航空費	0.8			
	計		0.8	計		0
	B.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

個別事業名： 鯨類の持続可能な利用に関するセミナー開催

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	招聘者A	鯨類の持続可能な利用に関するセミナーに参加するための航空賃	0.3	—	—
2	招聘者B	鯨類の持続可能な利用に関するセミナーに参加するための航空賃	0.3	—	—
3	招聘者C	鯨類の持続可能な利用に関するセミナーに参加するための航空賃	0.1	—	—
4	招聘者D	鯨類の持続可能な利用に関するセミナーに参加するための航空賃	0.1	—	—
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					